

子育てハンドブック

# いっしょに歩こう

改訂版



三郷市障がい者地域生活支援協議会  
子育て支援部会

# ……目 次……

## 目次

(資料)ライフステージ別に見た三郷市の支援や子どもの暮らしについて  
ごあいさつ。このブックの見方 …………… 6

## 第1章 子どもの育ちや学び

<幼児期の情報> にこにこ子育て応援ガイドのご紹介 ……………	7
1. 通園施設 ……………	8
* 毎日の生活をわかりやすくする～カレンダー～ ……………	9
* 予定を知らせて不安を減らす～スケジュール～ ……………	10
<小中学校就学に関する基本情報>	
1. 小学校就学までの流れ ……………	12
2. 通常学級における支援 ……………	14
3. 特別支援学級 小学校 ……………	16
4. 特別支援学校 小学部・中学部 ……………	18
* 支援籍制度って知っていますか? ……………	20
* 小学校選びのポイント～先輩の体験 ……………	22
* ここが知りたい「中学校生活や卒業後の進路について」 ……	25
5. 中学校 ……………	26
6. 教育相談 ……………	28
* 三郷市障がい者地域生活支援協議会のご紹介 ……………	29

## 第2章 子どもの生活への手助けくさまざまな福祉サービス

* 三郷市障がい福祉ガイドブックのご案内 ……………	31
1. 児童発達支援 ……………	32
2. 放課後等デイサービス ……………	33
* 児童発達支援・放課後等デイサービス Q&A ……………	34
* 専門部会紹介 子育て支援部会 ……………	37
3. 行動援護や居宅介護、身体介護 ……………	38
4. 移動支援 ……………	40

【事例紹介】 移動支援の利用	42
5. 在宅障害児者一時介護委託助成制度	44
【事例紹介】 在宅障害児者一時介護委託助成制度の利用	45
6. 相談支援事業所のご紹介	46
*専門部会紹介 ①相談支援部会	47
②日中活動部会 ③権利擁護部会	48
④精神障害部会 ⑤コミュニケーション推進部会	49
【経験談】 成長に合わせたサービスの使い方	50

### 第3章 親と子のくらし <ライフステージに伴う変化への心がまえ>

【経験談】 大きくなるまでに大切だと思うこと	52
1. 医療機関	53
2. 相談	54
3. 仲間に出会いたい	56
4. 子どもが参加できるサークル	58

### 第4章 子ども達との暮らしのはなし <保護者アンケート>

- 外出先や病院での困りごと・うまくいったことやみんなの工夫 60
- 学校生活や学習面での心配や困りごと・うまくいったこと 62
- 先生とのやりとりなどで困ったこと・うまくいったこと 64
- お子さんとの生活でうれしかったこと 66
- 配慮が嬉しいと感じたこと 67

### 資料ページ

三郷市内 相談支援事業所 事業所一覧	69
三郷市内 児童発達支援 放課後等デイサービス事業所一覧	70
三郷市内の成人障がい者施設一覧	72
三郷市内 特別支援学級 設置校	74
埼玉県内 おもな特別支援学校	75
県やそのほかの相談	76
埼玉県内や全国の親の会や自助団体	77

# ライフステージ別にみた

	出生～ 2歳未満	2歳～6歳 (幼児期)	学 齡 期 小学校	
			低学年	高学年
障害福祉・ 児童福祉	身体障害者手帳申請	児童発達支援 子ども発達支援センター しいのみ学園 児童相談所 障がい児保育/一時保育 *療育手帳申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス</li> <li>・居宅介護・行動援護・移動支援</li> <li>・短期入所</li> <li>・訪問入浴</li> <li>・在宅一時介護助成</li> </ul>	
保健	母子健康教育・健康相談・家庭訪問 健康診査(4か月・9か月・1歳8か月・3歳6か月)、発達ふれあい相談など 健診後の相談、予防接種など			
医療	未熟児医療 こども医療(中3の3月末まで)		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 児童精神科の受診や訓練</li> <li>* 歯科治療に備え、かかりつけ医を持つ</li> </ul>	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     重度医療・難病・特定疾病                 </div>				
保育・ 教育	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     保育所・認定こども園 幼稚園                 </div>		通常学級・通級指導教室・特別支援学級・特別支援学校・個別の教育支援計画	
	学校見学や就学相談			・中学校見学や相談
子どもの 暮らし	利用 児童 センター の広 場や	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所や幼稚園</li> <li>・療育や生活訓練</li> <li>・家族との時間が多い</li> <li>・親の目の届く範囲での活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育や生活訓練</li> <li>・習いごとやスポーツ</li> <li>・好きなことや得意なことを増やす。いろいろ経験する。</li> <li>・わかりやすい環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子分離。入浴や持ち物の用意、ひとりで寝る、親が代弁しないなど、物理的・心理的にも離れる。</li> <li>・余暇活動や趣味の充実</li> </ul>
子どもの よゆう		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことがわからない。混沌としている。</li> <li>・どうしたらよいのかわからないから泣いたり騒いだりする。</li> </ul>	学校生活	
			～学校に慣れる時期～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな集団で過ごしていること自体が緊張してストレスを感じている。疲れやすい。</li> <li>・学校に慣れてくるといたずらや困った行動が現れる場合もある。</li> </ul>	～思春期の入り口～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示されることを嫌がる。</li> <li>・2次性徴により体が変化</li> <li>・幼少期の多動は治まるが、思春期特有の戸惑いや不安が高くなり、衝動的に行動することがある。</li> </ul>
親の活動 暮らし	心と体の休息 ずひとり 相談する。 抱え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会やサークルのイベント、特性や手立てを学ぶ講座に参加</li> <li>・親自身の休息</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会や勉強会・交流会への参加などで知識を得る</li> <li>・特性への手立てや思春期の親子関係への心構えを学ぶ</li> <li>・仕事を始める人も多くなる</li> </ul>	

# 三郷市の支援や子どものくらしについて

	学 齢 期	高校など	青年期以降
	中学		
福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護 ・行動援護 ・短期入所 ・移動支援・訪問入浴 ・在宅一時介護助成</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の見学や実習</li> <li>・進学準備</li> </ul>	<p>【日中活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活介護、就労継続支援 (A型・B型)、就労移行支援、自立訓練、地域活動支援センター</li> </ul>
保 健	<p>福祉サービスを利用している場合、18歳になる時に医師の意見書が必要</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査や相談</li> <li>・医療と繋がり健康に気遣う</li> </ul>
医 療	<p>卒業してから、体重が増える。スポーツや外出の機会が減る人も多い。</p>		
	<p>* 精神科の受診</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>* かかりつけ医を持つ(障害年金の申請は医師の診断書が必要)</li> </ul>
教 育	<p>重度医療・難病・特定疾病</p>		
	<p>こども医療(中3の3月末まで)</p>	<p>* 歯科にて親知らずの抜歯や、それに伴う検査をする場合も。</p>	
暮 本人のらしの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級</li> <li>・特別支援学級</li> <li>・通級指導教室</li> <li>・特別支援学校</li> <li>・個別の教育支援計画</li> <li>・受験する場合は説明会参加等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校高等部</li> <li>・高等特別支援学校</li> <li>・高等学校(公立・私立) 全日制、定時制、通信制、普通科、専門科、総合科、学年制、単位制</li> <li>・高卒認定試験、サポート校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力開発センター</li> <li>・専門学校、大学</li> <li>⇒進学の場合、学校への配慮を求めるかどうか</li> </ul>
	<p>通信制高校の補助的役割がサポート校</p>		
よ 本人のうすの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活・学外生活</li> <li>・余暇活動や趣味</li> <li>・ひとりまたは友人と外出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活・学外生活</li> <li>・余暇活動や趣味</li> <li>・卒後に向けての自主通学</li> <li>・お金をもらう・使う経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動の場や就労</li> <li>・生涯学習、スポーツ、余暇活動、地域での交流</li> <li>・給料や年金での収入保障</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期に入り体が変化してくる</li> <li>・イライラして感情や欲求が高まる</li> <li>・周りや自分の違いに気づく</li> <li>・親の言うことはことごとく反発する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒後の漠然とした不安</li> <li>・悩むことが増える</li> <li>・異性に興味が出てくる</li> <li>・SNS やゲーム大好き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことができると幸せ</li> <li>・好きなことのために仕事に通い、報酬を得る。</li> </ul>
親の暮らしの活動や	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの精神的な分離</li> <li>・思春期・卒業後の進路等の講演会、勉強会・交流会への参加</li> <li>・卒業後のことも踏まえ、デイありきの就労や生活を見直す時期</li> <li>・事業所への見学や障害者雇用に関する知識などを得る</li> <li>・自分自身の健康や親の介護問題などが出てくる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親自身の健康管理</li> <li>・成年後見制度や障害年金の勉強会への参加</li> <li>・子どもがどんな暮らしをするのかを具体的に考えていく</li> </ul>

## ごあいさつ

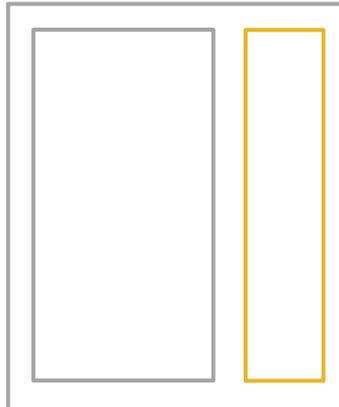
このガイドブックは、2016年に三郷市障がい者地域生活支援協議会の子育て支援部会が発行しました。障がい福祉課や関係する課の方々、市内の事業所の皆さまのご協力により、発行後たくさんの保護者や支援者の方にお届けすることができました。

今回、情報を整理し令和版として発行することとなりました。小中学生のお子さんがある方にもご活用していただける内容となっています。

協議会の目的としている障がい(児)者が地域で普通の暮らしを営めるよう、このガイドブックが皆様のお役に立つことが出来れば幸いです。

## このブックの見方

1ページをふたつの枠に分けています。  
左の枠は、おもに項目と説明です。  
市のホームページや発行されている資料を基に掲載しています。



右の枠は、項目に対する補足説明と、先輩保護者の経験による、メッセージや情報です。

先輩保護者からのメッセージは、この顔と吹き出しが目印です。



# 第1章

## 子どもの育ちや学び

### <幼児期の情報>

#### 【にこにこ子育て応援ガイドのご紹介】

健診や親子教室、保育所、幼稚園など、乳幼児に関するの基本情報は、三郷市にこにこ子育て応援ガイドに掲載されておりますので、にこにこガイドをご覧ください、お願いいたします。



三郷市ホームページでダウンロードできるほか、下記の場所にて配布しております。

#### <配布先一覧>

- ・みさとファミリー・サポート・センター
- ・北児童館・南児童センター
- ・早稲田児童センター
- ・八木郷子育て支援センター
- ・三郷中央駅前子育て支援センターにこにこ
- ・いちごサロン・ひだまり広場
- ・ひよこサロン・ばんびサロン
- ・すまいるサロン・こあらサロン
- ・きりんサロン
- ・ららほっとみさと
- ・市立図書館・早稲田図書館
- ・北部図書館

## 1.通園施設

発達の遅れや障がいのあるお子さんが通う施設などの紹介です。

### \* 統合保育 市内公立保育所

特別な支援が必要なお子さんと健常児がともに育つことができるように、統合保育を行っています。また、上口保育所、丹後保育所では、障がい児クラスも併設しています。【窓口】すこやか課 保育係 ☎048-930-7784

### \* 三郷市児童発達支援センター

#### 【相談・指導】子ども発達支援センター

発達の遅れや偏りなどの心配があるお子さんについて、相談や個別指導を行っています。相談や指導は予約制です。

【窓口】子ども支援課 発達支援係 ☎048-930-7794

#### 【児童発達支援】しいのみ学園

心身の発達や運動発达到遅れや障がいのある小学校入学前の児童に対して機能訓練・生活指導・母子指導を専門的に行い、児童の発達を促します。

新和 2-193 しいのみ学園 ☎048-952-0066

【窓口】子ども支援課 発達支援係 ☎048-930-7794

<三郷市ホームページ・ここにご三郷市子育て応援ガイドより一部抜粋>

\* そのほかの児童発達支援事業所については、巻末の資料ページをご覧ください。

### \* 保育所入所について

入所基準は市の基準に沿った形となります。

心配なことはひとりで抱え込まないでください。スタッフと一緒に子どもへの向き合い方や子育てのヒントをつかむことができるかもしれません。お子さんに合わせたあゆみを見つけていきましょう。



## 毎日の生活をわかりやすくする 《カレンダーを使ってみよう》

1ヶ月の予定や1週間の予定があると、休みの日や放課後どこに行くのかなどがわかりやすくなります。  
イラストや文字、写真、お子さんにわかる方法でためしてみてください。

1	2	3	4	5	6	7
日	月	火	水	木	金	土
公園	学校	学校	学校	学校	学校	家
	デイ	家	病院	デイ	家	

一日の時間の流れは縦に書きます。  
学校の時間割と同じなので入学してからも時間割が入りやすいです。

ホワイトボードに直接枠を書き込んだり、印刷して貼ったり、市販のものを利用したり、気負わず簡単に出来る方法を試してみてください。

学校に行きたがらない、家で荒れている、などお子さんが困っている様子の時、日々の見通しが立っているなら、そのほかの原因を考えることができます。

《先輩保護者より…》1日の予定、1週間、1ヶ月とお子さんにわかりやすい形から始めてくださいね。使えるようになるまで何年もかかったお子さんや、言葉がほとんどなくても文字や写真でコミュニケーションを取っているお子さんもいますよ。

「わからないから…」とあきらめず、続けてみてください。はじめは1日しかわからなくても、続けているうちにだんだん理解出来るようになる場合もあります。でも始めなければ残念ながらそれまでです。そのうちわかるようになるのは難しいかもしれませんが。

続けてみると半年後、1年後に嬉しい変化があると思います。

## 予定を知らせて不安を減らそう 《スケジュール》

\*スケジュールは1日の予定や、お出かけ先での流れを書いたものです。今日はどこに行くのか、園が終わってどこかに寄るのか、見通しが立たないことでの不安や混乱を生じることが多いと思います。家のホワイトボードに書いたものでは持ち歩きができません。簡単なもので大丈夫なので持ち歩ける形の物をおすすめします。

〇月〇日（□） 病院	
*：*	受付
*：*	診察
*：*	会計
*：*	薬局

〇月〇日（□）	
1	 はいしゃさん
2	 コンビニ
3	 家

文字が読めるなら文字で、文字がまだ難しい場合はイラストなどで知らせます。行く場所だけでなく、その場所で何をどんな順番でするのかを知りたい場合はもう少し細かく書いてあげる必要があるかもしれません。見通しが立つことで安心して治療やお出かけを楽しめることに繋がるのなら、書いてあげてくださいね。

発達障害の人達に視覚的に活用した情報提供をすることは合理的配慮です。学校やデイでもぜひスケジュールを取り入れてもらいたいと願います。

## <小・中学校に関する基本情報>

この章では、小学校への就学から中学校に関することなどをまとめてみました。

先輩お母さん達の体験も参考にしてくださいね。



## 1. 小学校就学までの流れ

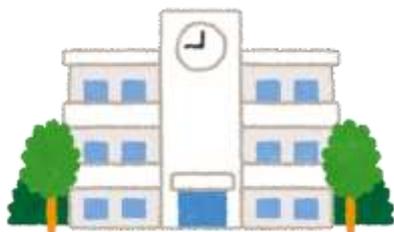
どの就学先を選べば子どもが成長してゆけるのかと親は悩むものです。「お子さんが安心して学べる環境かどうか」を考える目安にするとよいかもれません。

### ● 就学相談とは

お子さんの教育の心配や悩みがある保護者のために三郷市教育委員会が行っている制度です。学校生活に不安があるとき、就学相談を受けてみるのはいかかでしょうか？

(要予約)

【窓口】教育委員会指導課 ☎048-930-7758



就学支援委員会の提案は、アドバイスのひとつかもしれませんが、最終的には、お子さんと保護者の方が、お子さんに適した就学先を選ぶことが出来るといいですね。

● 就学までの流れ（新一年生の場合）

保護者の就学についての迷いや悩み

教育委員会指導課への相談  
☎048-930-7758

教育委員会指導課指導主事が窓口  
必要に応じ、  
特別支援学校や特別支援学級等の  
見学、説明会への参加

学校公開等での参観

学校選択票等の提出

**三郷市就学支援委員会**  
専門医等による就学相談

就学手続き(書類等作成)

**就学先の決定**

◇参考資料：三郷市教育委員会 就学相談リーフレット



**見学に行ってみま  
しょう**

見学をして雰囲気  
や授業を見てみる  
のも判断材料にな  
ります。

学校公開日は気  
軽に見に行くこと  
が出来ますが、特  
別授業が多く見学  
者もいるのでいつ  
も違った様子にな  
がちです。

別の機会に、教  
育委員会主催の特  
別支援学級参観  
等、普段の授業の  
見学をお願いし  
てもよいかもしれ  
ませんね。

## 2. 通常学級における支援

お子さんの状態によりますが、通常学級に在籍しながら個別な支援を受けることもできます。

※詳しい内容についてはホームページやリーフレットをご覧ください。

### ● 通級指導（こころの教室）って？

発達や情緒に心配があるお子さんが、在籍する学校での学習等における困りを軽減し、適応していくために、週に1回程度定期的に通い個別の指導を受けるところです。保護者が同伴します。申し込みについては在籍の小学校へご連絡ください。

【窓口】教育委員会指導課 ☎048-930-7758

### 【どこの学校にありますか？】

戸ヶ崎小学校、立花小学校、前谷小学校、瑞木小学校にあります。

<三郷市ホームページより一部転載>

在籍校との相談や教育委員会への申請など様々な手続きが必要となります。また、希望者が多いと待機になる場合もあるかもしれませんので、心配な場合は早めに学校に相談しましょう。



### 特別支援教育コーディネーターとは？

市内すべての小・中学校には特別支援教育コーディネーターが指名されています。特別支援学級の先生であったり、養護教諭の先生だったり、教務主任であったりと立場は様々です。校内の支援体制を作り、保護者や関係教員との連絡調整を行うキーパーソンとなる方です。保護者からの相談にも応じてくれます。コーディネーターの先生がどなたなのかわからない場合は、学校に聞いてみましょう。

## ● 通級指導（ことばの教室）って？

ことばやきこえについて心配がある方の相談、ことばの改善をはかり、子どもたちがしっかりと学校生活に適応していくための支援を行っているところです。保護者が付き添います。

### 【どの学校にありますか？】

桜小学校、鷹野小学校にあります。

【窓口】教育委員会指導課 ☎048-930-7758

または桜小・鷹野小へ

申し込みについては在籍の小学校へご連絡ください。

## ● 特別支援学級支援籍って？

県で定める実施要領に基づいて実施されています。通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのあるお子さんが、特別支援学級において個別指導を受けることができます。

◇参考資料：埼玉県教育委員会 特別学級支援籍リーフ



支援籍についてもまずは担任の先生に相談してみてくださいね。

### 3. 特別支援学級 小学校編

市内の小学校全 19 校すべてに特別支援学級が設置されています。

#### ● 特別支援学級って？

少人数で一人ひとりの障がいや発達に合わせた指導を受けることで力を伸ばしていくことを目的とした学級です。個別のプランを作成し、個に応じた指導を行っています。

#### 【クラスの人数は？学年は？】

1 クラスの人数は 8 名です。学年については混合だったり学年別であったり学校によって様々です。

#### 【どこの学校にもあるの？】

小学校はすべての学校、中学校 6 校に設置されています。（令和 5 年度）

#### 【小学校は学校選択制がなくなりましたが支援学級はどうなっていますか？】

お住いの学区に特別支援学級がある場合はそちらへ就学となります。学区にない場合、知的は隣接する学区の学校、情緒は自宅から最短距離の学校となります。



クラスの人数は国で決められていますが、補助の先生（支援員）が付く場合もあります。

\* 設置校一覧は  
▶ 巻末の資料ページへ

**【情緒学級と知的学級の違いはなんでしょうか？】**

情緒学級：自閉症または情緒障がいがあるお子さん

知的学級：知的発達におくれがあるお子さんとなります

**【支援学級に入ったら通常学級との関わりはなくなりますか？通常学級に在籍することは出来なくなりますか？】**

交流学习と言って、教科によっては通常学級の授業を受けに行く形があります。授業の参加は難しくても学校行事などで参加しているお子さんもいます。

学びの場の変更については、学校や担任の先生に相談してください。

【窓口】教育委員会 指導課 ☎048-930-7758



交流に行くかどうかは、お子さんの学習の進み具合や心身の安定などによるかもしれませんね。

## 4. 特別支援学校 小学部・中学部

障がいのある子だけが通う特別支援学校という学校もあります。小学部・中学部・高等部があります。

### 【特別支援学校ってどんなところ？】

障がいのあるお子さんが「幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育を受けること」と「学習上または生活上の困難を克服し自立が図られること」を目的とした学校です。 <学校教育法第72条より一部抜粋>

### 【クラスの人数は？学年は？】

1クラスの人数は小中ともに6名です。

### 【どこの市町村にもあるの？】

各市町村にあるわけではなく、お住いの地域にない場合は近隣の学校に通うことになります。

### 【三郷市が通学地域となる特別支援学校】

- 視覚障がい...**埼玉県立特別支援学校塙保己一学園(川越市)** ☎049-231-2121
- 聴覚障がい...**埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園** ☎048-663-7525
- 肢体不自由...**埼玉県立越谷特別支援学校** ☎048-975-2111
- 知的障がい...**埼玉県立三郷特別支援学校** ☎049-952-1205

\*クラスの人数は国で決められています。

重複学級は若干人数が少なくなります。

\*障がいの種類によっては県内に数校しかない学校もあります。寄宿舍(寮)がある学校もあります。

各学校の詳しい住所などは  
▶資料ページをご覧ください

## 【特別支援学校ってどんなことを学習するの？】

特別支援学校では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいに基づく種々の困難を改善・克服するために、「自立活動」という特別の指導領域が設けられています。また、子どもの障がいの状態等に応じた弾力的な教育課程が編成できるようになっています。なお、知的障がい者を教育する特別支援学校については、知的障がいの特徴や学習上の特性などを踏まえた独自の教科及びその目標や内容が示されています。



<文部科学省ホームページより一部転載>

## 【学校までは親が送迎しなくてはいけませんか？】

スクールバスがあります。ほとんどのお子さんがスクールバスに乗って通学しています。



\* 高等部だけの高等特別支援学校や分校も出来ていません。

詳しくは▶資料ページをご覧ください

\* 特別支援学級も同様です



高等部になると自主通学を推奨している学校もあります。小さい頃から自主通学を目標としていくのも良いですね。卒業後のことを考えても、自主通学は大切な取り組みですね。

## 【支援籍制度って知っていますか？】

支援籍とは障がいのある子ども達が、通っている学校や学級以外に籍を置く埼玉県独自の制度です。

支援籍学習は、特別なニーズのある子ども達に合わせた活動を行いながら、社会で自立できる自信と力を育むことを目的としています。



詳しい説明はホームページをご覧ください

\* 支援籍関係のホームページ：埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課

## 支援学校から地域の小学校へ、支援籍を実施した先輩お母さんに聞きました

### <支援籍制度を使ってみようと思った理由は何ですか？>

- ・地域の同年代の子ども達と関わる機会がないので、少しでも関わりが持てたら良いなと思った。
- ・障がいのある子どものことを知ってほしかった
- ・自分の子どもが地域に住んでいるのを知ってもらうため
- ・地域の方に知ってもらう機会にしたかった

### <お子さんの様子はどうでしたか？>

- ・たくさん話しかけてもらい、一緒に活動して嬉しそうだった。
- ・回数を重ねるごとに楽しみにするようになった
- ・やはり1回目より2回目・3回目のほうが落ち着いて参加できる
- ・子どもの様子を見ながら何回かプランを見直した。本人の得意な活動を取り入れたところ、とても楽しそうな様子だった。

### <感想やこれからの要望はありますか？>

- ・保護者も付き添ったので受け入れて貰えるか非常に緊張した
- ・受け入れ先の学校で、障がいのことについてどの程度学習しているのかを知りたい。



学習内容や時間などはお子さんの様子によって違いがあるようです。学校や担任の先生とよく相談してくださいね。

小学校ってどんなところ？

## 「小学校選びのポイント～先輩の体験」

学校に入学してみて良かったこと、嬉しかったこと。現在のようす

Aさん	本人の希望の学校ということもあり、楽しく通学出来ている。通学距離が短いので本人は体力的にも楽。登下校の子ども同士のトラブルも起こりにくい。親も様子を見守る際に負担が少ない。
Bさん	心配したけれど、現在も通常学級で頑張っている。通級もしていない。
Cさん	交流が盛んで高学年が毎日昼休みに遊びに来てくれたり、お祭りの際たくさん声を掛けられたりして嬉しかった。
Dさん	幼稚園の時からのお友達が一緒だったので分からない事や不安な時にすぐに相談できて心強かった。
Eさん	小規模校で学校全体の人数が少なく、支援学級も1クラスで平均5名程度。学校全体で支えてもらい、担任の先生も子どもの様子を見ながら少しずつ学力や生活スキルを上げてくれて感謝している。
Fさん	今のところ問題はない。入学したての頃はかなり先生も大変だったと思うが、辛抱強く行動を共にしてもらったお陰で、本人も『学校』という環境を受け入れてくれた

## 残念だったことや困ったこと、対策したこと。

Aさん	<ul style="list-style-type: none"><li>・入学説明会で発達に問題のあるお子さんのご家庭は申し出てくださいと言われ、面談をして検査結果も提出した。しかし担任の先生には何も伝わっていなかった。</li><li>・クラスが多いので行事が長くて待ち時間が多い。</li></ul>
Bさん	同級生のように上手にできないことも沢山ある。学校や担任の理解もあり、今のところ大きな問題はない。今後本人の気持ちを尊重しながら決めていきたい。
Cさん	学年が上がり下級生よりも出来ることが少なくなり、授業中も「待つ」ことが増えて焦りを感じた。支援学校を見学、その時の担任にも相談した。結果転学することになったが、支援学校では待つこともほとんどなくなり、少しずつ伸びていった気がする、何より笑顔が増えた。
Dさん	入学後、幼稚園で出来ていた身支度も出来ないなど落ち着かない日が続いた。同じ学校に通っていてもクラスや担任で状態が全然違うように感じた。
Eさん	小3の頃突然「学校行かない」と毎日泣いて騒ぎ学校でも家庭でも感情を爆発させた。その時に担任の先生がすぐに対応を変えてくれた。時間調整なども行い少しずつ調子を戻すことが出来た。
Fさん	学校で本人に必要な課題のプランを立ててくれるが授業の中で行われる為、残念な所もあるし個別療育のようなものとはやはり違う。学校の中での限界もあると思うので家で出来ることはやらなければと思った。

## 就学に悩んでいる保護者の方へ、先輩お母さんからのメッセージ。

- \* 悩み過ぎずにマイペースで
- \* 私も就学前は悩んで悪いイメージばかりを想像し不安でいっぱいでしたが、大丈夫です。嬉しいこともありますよ。
- \* 困った事があっても子供に寄り添いながら、周りに相談しながら手立てを考えていくと、その先に嬉しい成長が見られました。
- \* 少しでも過ごしやすい環境をと思い学校を選びました。その結果はよかったと思います。
- \* 可愛い1年生も卒業の頃には母親を超える位大きくなり、心身ともに大きく変化する6年間でした。我が子の場合ですが「問題が起きたら早めに対処する」ことが良かったようです。悩みはひとりで抱えないでください。
- \* どんな時も、お子さんのことを第一に考えての選択なら、きっとうまくいくと思います。
- \* 就学はゴールではなくスタートだから、一歩ずつ前へ進んでいきましょう。
- \* いろいろ考えて決めたら、進んでみましょう。入学後に進路変更もありだと思います。
- \* 悩んだ分、子供の将来を考える力がつきます。環境を変える事で学べるが増える事もあります。



ここが知りたい

## 中学校生活や卒業後の進路について

Q.中学校に進学するにあたって、小学校のような就学相談の機会がありますか？

A.在籍する小学校や三郷市教育委員会に個別にご相談ください

Q.中学校で特別支援学級を選ぶと高校受験に支障があるとママ友から聞きました。本当ですか？

A.特別支援学級での学習評価を高校受験等に必要な内申点として作成してもらえるかどうかは、各中学校にご相談ください。併せて、特別支援学級に在籍するお子さんの入試における内申点に関して、受験希望先の高校等にお問合せすることをおすすめします。

Q.特別支援学級を卒業した後はどんな進路に進みますか？

A.学区にある特別支援学校高等部の入学選考を経て進学するお子さんが多いです。職業学科や分校など、学区以外の特別支援学校を受検することもできます。

※そのほか全日制や通信制などの学校については5ページの表をご覧ください。

Q.特別支援学校の高等部は、高卒ではないと聞きました。本当でしょうか。

A.「特別支援学校高等部卒」となります。

Q.特別支援学校高等部を卒業してからはどんな進路に進みますか？

A.障がい者雇用枠を活用する企業就労、就労継続支援 A 型および B 型、就労移行支援、生活介護施設などが主な進路先となります。

## 5. 中学校

特別支援学級だけでなく、通常学級に在籍する生徒さんもいます。

### ● 特別支援学級って？

少人数で一人ひとりの障がいや発達に合わせた指導を受けることで力を伸ばしていくことを目的とした学級です。個別のプランを作成し、個に応じた指導を行っています。

### 【クラスの人数は？学年は？】

1クラスの人数は8名です。学年に関しては混合だったり学年別であったり学校によって様々です。

### 【どの学校にもあるの？】

南、北、彦成、彦糸、前川、早稲田中学校の6校に設置されています。（令和5年度）

\*情緒と知的の一覧は

▶[巻末の資料ページ](#)をご覧ください



市内の中学校には、生徒・保護者が利用できる相談室があります。相談員の先生が常駐し、定期的にスクールカウンセラーの先生も来校します。

**【中学校は教科担任制ですが、支援学級はどうですか？】**

それぞれの学校の生徒数や学年分布、お子さんの状態により違いがあります。担任中心、積極的に通級を行っている、などさまざまです。

**【中学校でも通級指導教室はありますか？】**

小学校のような通級指導教室はありません。不登校生徒のための適応指導教室が2か所あります。

**【障がいを持った子どもが不登校になった場合、相談窓口はどこになりますか？】**

3か所の教育相談室（2か所の適応指導教室、および1か所の教育相談室）となります。

【窓口】教育委員会 指導課 ☎048-930-7758



人数やクラス編成などは学校によって違いがあるようですので、問い合わせをくださいね

## 6.教育相談

### ● 三郷市教育相談室

いじめや不登校など、小学生や中学生及び保護者の方の相談に応えるため3つの教育相談室を設置しています。電話・面談等を受け付けています。

#### \* 第1 教育相談室 適応指導教室「野のさと」

☎048-955-9800

#### \* 第2 教育相談室 発達相談

☎048-950-2202

#### \* 第3 教育相談室 適応指導教室「みずぬま」

☎048-959-3222

◇参考資料：三郷市教育相談室のご案内

<三郷市ホームページより一部引用>

### ● 埼玉県立三郷特別支援学校 特別支援教育コーディネーター

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の子どもの相談に対応しています。

所属している学校や園を通じて、ご連絡ください。

埼玉県立三郷特別支援学校 ☎048-952-1205

### 相談のコツ

話そうと思っていることは予め書いておくといいですよ。

また、日常の様子を記録したのものや通知票・授業で使用しているノートなど、学校での様子が分かるものを持参するとよいかもれません。



公的な相談機関のほか、病院や民間の療育機関で相談するケースもありますね。全国レベルの親の会などで電話相談をしているところもあるようです。県や全国にある親の会や自助団体一覧については、▶資料ページをご覧ください

地域の障がい福祉に関するシステムづくりに関し、定期的な協議を行うため設置されています。

協議会は全体会と定例会、各専門部会で構成されています。

- |   |           |    |               |
|---|-----------|----|---------------|
| 1 | 三郷市福祉部職員  | 9  | 障がい福祉施設系事業者   |
| 2 | 委託相談支援事業者 | 10 | 高齢者支援関係機関     |
| 3 | 保健・医療機関   | 11 | 障害者相談員        |
| 4 | 権利擁護機関    | 12 | 民生委員・児童委員     |
| 5 | 教育機関      | 13 | 障がい者団体        |
| 6 | 就労支援機関    | 14 | 学識経験者         |
| 7 | 雇用関係機関    | 15 | 当事者           |
| 8 | サービス提供事業者 | 16 | その他市長が必要と認める者 |

#### <全体会>

これらの関係機関等の中から代表者 12 名以内で構成され、重要な事項等について協議を行います。

#### <定例会>

これらの関係機関等の中から実務担当者 15 名以内で構成され、所掌事項について協議を行います。

#### <専門部会>

協議会の所掌事項について必要な資料の収集、調査及び研究を行うため、協議会の中に設置されています。

専門部会として 6 つの部会が活動中です。

- |         |                |
|---------|----------------|
| ◎日中活動部会 | ◎子育て支援部会       |
| ◎権利擁護部会 | ◎精神障害部会        |
| ◎相談支援部会 | ◎コミュニケーション推進部会 |

## 第2章

# 子どもの生活への手助け

## <さまざまな福祉サービスなど>

障がいを持ったお子さんを家族で支えるだけでなく、福祉サービスを上手に取り入れて生活していきましょう。

また、地域生活支援協議会や専門部会についての紹介ページもあります。



## 三郷市 障がい福祉ガイドブック

障がいのある方やそのご家族向けに障がい福祉サービス等の概要については「三郷市障がい福祉ガイドブック」をご参照ください。三郷市ホームページ 障がい福祉課のページから見る事が出来ます。

<https://www.city.misato.lg.jp/soshiki/fukushi/shogaifukushi/6/893.html>

ほかにも、就労に関する情報を集めた「三郷市障がい者就労支援施設等事業所ガイドブック」も掲載されています。

<https://www.city.misato.lg.jp/soshiki/fukushi/shogaifukushi/6/920.html>



## 1. 児童発達支援

### ● 【児童発達支援って？】

障がいをお持ちの未就学児を対象とした通所訓練施設です。日常生活での基本的な動作の指導・集団生活での適応などを練習します。

### 【どうしたら通えるの？】

受給者証が必要です。まずは市役所に相談しましょう。流れは下記のようになります。



### 【申請方法は？】

障がい福祉課にて受給者証を申請後、各事業所にお問い合わせ下さい。

**ご利用前は見学に行かれることをおすすめします。**

【窓口】障がい福祉課 ☎048-048-930-7778

### ◆1 利用計画

(障害児支援利用計画)

相談支援事業所で作成してもらいます。相談や利用計画の費用はかかりません。

相談支援事業所  
児童発達支援事業所  
一覧は▶巻末の資料  
ページをご覧ください

\* 受給者証は1年に1回更新が必要になります。

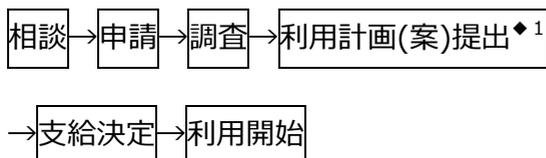
## 2. 放課後等デイサービス

### ● 放課後等デイサービスって何？

障がいのある学齢期の児童が学校の授業終了後や学校休業日に通う、療育機能、居場所機能を備えたサービスのことです。

### 【どうしたら通えるの？】

受給者証が必要です。まずは市役所に相談しましょう。流れは下記のようになります。



### 【申請方法は？】

障がい福祉課にて受給者証を申請後、各事業所にお問い合わせ下さい。

**ご利用前は見学に行かれることをおすすめします。**

【窓口】障がい福祉課 ☎048-048-930-7778

### ◆1 利用計画

(障害児支援利用計画)

相談支援事業所で作成してもらいます。相談や利用計画の費用はかかりません。

相談支援事業所一覧  
放課後等デイサービス  
事業所一覧は▶巻末  
の資料ページをご覧ください

\* 受給者証は1年に1回更新が必要になります。

## 児童発達支援・放課後等デイサービス Q&A

事業所の方にお答えいただきました

### 【児童発達支援・放課後等デイサービス 共通】

・送迎はしていますか？

⇒事業所によって違います。お問合せ下さい。

・三郷市内の事業所しか利用はできないのですか？

⇒他市の事業所も利用できますが、送迎地域などをご確認ください。

・送りを最後にしてほしいのですが、できますか？

⇒利用する事業所にご相談ください。

・活動内容は事業所によって違いますか？

⇒はいそうです。それぞれ特色があります。必ず事前に各事業所にお問合せください。

### 【児童発達支援】

・幼稚園や保育所に通っていますが、利用できますか？

⇒利用できます。送迎に関しては各事業所へお問合せください

・しいのみ学園が終わったあと、他の事業所を利用することはできますか？

⇒1日1か所と決まっていますので、できません。

・保護者の付き添いは必要ですか？

⇒親子通所の事業所もあります。各事業所へお問合せください。

### 【放課後等デイサービス】

- ・ **児童発達支援で同じ事業所に3年通っていましたが、放課後等デイサービス※(以下、放デイ)でも同じ事業所に通えますよね？**

⇒市内の事業所はほとんど空きがありません。児童発達支援に通所しているから入学してもそのまま放デイへ移行できるかどうかは難しい状況です。事業所によっては高校3年生の卒業により空きが出来ます。

- ・ **放課後毎日、週に5日利用を考えています。**

⇒お子さんに合わせた利用日数が望ましいと思います。また、事業所の空き状況にもよりますので、希望に沿った利用が難しいこともあります。

- ・ **利用できる年齢は何歳までですか？**

⇒小学1年生から高校3年生までです。事業所によって違いがあります。

- ・ **宿題は見てもらえますか？**

⇒事業所によって違います。利用する際に、事業所側ができることと保護者やお子さんの希望をよく話し合ってください。

- ・ **長期休みの時は長く見てもらえるところ、学校がある日は別のところを利用したいのですが…**

⇒ほとんどの事業所が曜日固定となっています。2つの事業所とよく話し合いをしてみてください。お子さんにとって混乱が少ない利用方法をお勧めします。

## 放課後等デイサービス Q&A その2

### 【放課後等デイサービス】

- ・ **同じ事業所にお友達が通っています。都合が悪い時はお友達と曜日を交換してもいいですか？**

⇒保護者の間で曜日を交換することはできません。事業所へご相談ください。

- ・ **利用料金はひとつの事業所ごとに支払うのでしょうか？**

⇒決められた利用料金の範囲で何事業所でもご利用できます。世帯収入により、負担利用料金が違います。実費やおやつ代なども事業所によって違います。

また、2事業所以上ご利用になる場合には、「上限管理事業所」が必要になります。数か所の事業所をお使いのかたは上限管理事業所を保護者の方がお決めになり、事業所管理者にお伝えください。

- ・ **学校をお休みした日や不登校で長期欠席している場合、利用できますか？**

⇒事業所によって対応が違います。また、不登校のお子さんの場合、サービス等利用計画に支援内容の記載が必要です。

幼稚園や保育所を選ぶとき、特色や内容を考えてお子さんに合った場所を決められたと思います。放課後等デイサービスも、事業所によって内容や対応できることに違いがあるようですね。また、保護者が就労しているために通う学童保育とは違い、放デイはお子さんを中心の施設です。お子さんに無理のないような利用を心がけたいですね。



## <専門部会紹介> 子育て支援部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A.平成 24 年より、以下のような活動を行ってきました。

第 1 期 平成 24・25 年 ・保護者アンケート

第 2 期 平成 26・27 年 ・ヒアリング、活動報告会、交流会。

第 3 期 平成 28・29 年 ・子育てハンドブック「いっしょに歩こう」発行 ・子育ていっしょに歩こう講座全 5 回開催

第 4 期 平成 30 年・令和元年 ・ペアレント・トレーニング講座を 2 年連続で開催 交流会

第 5 期 令和 2・3 年 ・子育てハンドブック「いっしょに歩こう」改訂版発行 三郷市児童発達支援センターとの懇談会開催

第 6 期 令和 4・5 年 障がいのある子どもの性について全 2 回

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A.会議に出席しているのは、行政職員、障がい児童担当の相談員、児童発達支援や放課後等デイサービス事業所職員、教育関係、保護者などです。

今まで開催した勉強会などは、保護者・事業所関係・行政職員などたくさんの方が出席されています。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A.お子さんのいちばんの理解者はご家族です。お子さんの“今”を認めながら成長を見守って行けるといいですね。

そして、悩んだときはひとりで抱えずに、地域の相談機関・学校・幼稚園・保育所、行政機関、児童発達支援や放課後等デイサービス事業所などにいつでも相談してください。

## 3.行動援護

### ● 行動援護って？

危険を回避するために自己判断する事が難しく、行動上著しい困難を有する知的障がいの方、精神障がいの方への支援です

### 【どんな人が対象になるの？】

知的障がい・精神障がいにより行動上著しい困難を有し、障がい区分3以上の方で、障害支援区分の認定調査項目のうち行動関係項目等（12項目）の合計点数が10点以上の方。

### 【どんなことをお願いできるの？】

- ・外出時における移動の援護・危険の回避
- ・排泄及び食事等の介護や援護

\* 詳しくは障がい福祉課や相談支援事業所にご相談ください

【窓口】障がい福祉課 ☎048-930-7778

\* 行動援護を行っている事業所は限られています。

**● 居宅介護って？**

地域での日常生活をよりよく過ごせるように使えるサービスです。

ホームヘルパーが自宅を訪問し援助を提供します。

**【申請方法は？】**

支援区分の認定が必要になり調査が行われます。サービスの支給が決定するまでに少し時間がかかります。支援区分1（障がい児はそれに相当する心身の状態）以上の方が対象となります。

※手帳あるいは医師の診断書等が必要になります。

**【サービスの内容は？】**

- ・身体介護 入浴 排泄 食事等の介助
- ・家事援助 調理 洗濯掃除 買い物
- ・その他 生活等の相談や助言  
その他生活全般にわたる助言

【窓口】障がい福祉課 ☎048-930-7778

**\* 支援区分って？**

1～6段階に障がい者の要支援状態を区分けする事です

**\* 身体介護とは？**

着替え、清拭、身体整容（洗顔・歯磨き）体位変換、起床、就寝、移動、服薬など身体に直接触れて行う介護を言います。

## 4.移動支援

ヘルパーさんと一緒にお出かけ

### 移動支援って何？

移動支援とは、単独で外出が困難な障がい者（児）に対してヘルパーが付き添うことで、障害者の自立と社会参加を促進します。

**【車で移動できるの？】** 電車やバス、タクシーなど、公共機関を使ってのお出かけになります。

**【どうやったら使えるの？】** 障がい福祉課で申請が出来ます。いろいろなケースがあるので相談してみてください。

**【どんな人が対象になるの？】** 療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けているかた、発達障害の診断を受けているかた、および身体障害者手帳をお持ちで視覚障がい・全身性障がいのあるかた。

【窓口】障がい福祉課 ☎048-930-7778

\* 移動支援を利用するためには、1年に1回更新が必要になります。

移動支援は障害福祉サービス受給者証とは違います。あらたに申請が必要です。



そのほか移動支援について まだまだ聞きたい...

**【うちの子は言葉がありません。お出かけ先はどうやって決めているのですか？】**

保護者の方がお子さんの興味のありそうなことを選んで決めて頂いてもいいですね。例えば、図書館や公園、動物園に行く、など。

何に興味があるのかわからない、という場合はヘルパーさんにお任せしてもいいかもしれません。ヘルパーさんはそれぞれ良く行く外出先をいくつか把握してらっしゃる方が多いと思います。

**【お出かけするということはお金もかかりますよね？】**

外出先までの交通費や入場料はヘルパーの分も負担します。

毎月の利用料は、他のサービスと同じように負担能力に応じた利用者負担額を支払います。

**【使ってみたいとは思いますが、不安もあります】**

好きなことや苦手なこと、お気に入りの食事メニューやトイレの間隔など、簡単にいいので予めヘルパーに伝えると良いかもしれませんね。



## 事例紹介 移動支援の利用

ヘルパーさんと電車&バスでお出かけしました。

●移動支援ってどんなふうにご利用すればいいのか。ここでは17歳女子Mさんが、ヘルパーさんと外出した様子を伝えたいと思います。

●2015年某日曜日、夏！今回は電車を使って代々木公園のイベントへ行ってきました。待ち合わせ場所から駅まで歩き、切符を買ってGo!

AM9:30 出発



\*待ち合わせ場所では、事業所との打ち合わせした持ち物を確認します。手帳、お金、着替えなど。

\*ヘルパーさんを利用する前に必要な事

- ・受給者証（市役所にご相談ください）
- ・ヘルパーさんを派遣してくれる事業所との契約
- ・ヘルパーさんと子供との顔合わせ

Mは中学生の頃から月に1回の割合で移動支援を利用しています。大好きなアニメ映画を観に行くことや、ショッピング、水族館、プラネタリウムなどがお気に入りです。

ヘルパーさんとの待ち合わせ場所へ行くと「楽しそうな所へ行ける」と思っているようで、足取りも軽く見えます。（母）



原宿駅から徒歩。とても暑い日でしたが、公園へ行くまで日陰になっていて、歩きやすかったです。AM11:40 イベント会場到着！



お店を見て回った後、レジャーシートを広げて昼食。昼食後、イベント内のコンサート会場でリハーサルを見学。Mさんは音楽が好きなので聴き入っていたそうです。



帰りは渋谷駅からにしたので NHK に寄り、トイレも借りました。NHK からバスで渋谷へ。埼京線から武蔵野線へ乗り換え、朝と同じ待ち合わせ場所へ 16:20 到着！笑顔です。



### 人に任せるのは不安・・・

そんな時は、お家の方もヘルパーさん、お子さんと一緒に外出されてみてはいかがでしょうか？お出かけに心強いサポーターだと思えます。

そのほかヘルパー利用に関しては、事業所の方と相談すると色々な使い方が見つかるかもしれません。

## 5.在宅障害者一時介護委託助成制度

### 【在宅障害児者一時介護委託助成制度って何ですか？】

身体障がい児・者、知的障がい児・者の家族が何らかの理由で介護が出来ない場合に、家族以外の誰かに代わりをお願いし、かかった介護料の一部を三郷市が助成してくれる市の単独補助事業です。

対象者 療育手帳・身体障害者手帳をお持ちの方

助成金額 4時間未満 2500円  
4時間以上 5000円

申請方法 必要書類を3枚記入し障がい福祉課に提出します。

助成金支払いは4月・8月・12月の年3回になります。

【窓口】障がい福祉課 ☎048-930-7778

<三郷市ホームページより一部抜粋>

\*介護事業所だけでなく、友人・知人をお願いできるなど、フットワークの良い制度です。

\*年度内にひとり5万円まで利用できます。

年度をまたいでの申請は出来ません。書類の提出は締め切りに遅れないようにしてくださいね。



### ◆ 家族のどうしても外せない用事の時に

実家が地方にあるため、親戚の冠婚葬祭などは泊りがけになってしまいます。子どもには負担が大きいため、小さい頃からお世話になっている事業所さんに泊まりをお願いしています。慣れた方達なので親も安心です。

### ◆ ショートステイの練習に

ショートステイは、県西部に多く自宅から近いところでは空きがありません。いつかは利用したいと思いますが、その前に近いところで慣れた方をお願いして宿泊の練習をさせてもらっています。

### ◆ 車でお出かけしたい

移動支援では車で外出は出来ませんが、一時介護委託助成制度を使ってドライブをしています。

### ◆ 制度外のメニューが可能

泊まりでの旅行や自宅での見守りなど、移動支援や居宅介護では認められないメニューを組むことが出来ます。子どもの余暇の充実や生活の質を上げることに利用しています。



## 6. 相談支援事業所の紹介

### ● 障害児相談支援

障がいのあるお子さんが障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなどの福祉サービス）を利用する前に障害児支援利用計画を作成し、通所支援開始後、一定期間ごとにモニタリングを行う（継続障害児支援利用援助）等の支援を行います。

<WAMNET より一部転載>

### ● 相談支援事業所一覧

【指定一般相談支援事業所】

#### ・ 障がい福祉相談支援センターパティオ

☎048-949-2210

#### ・ 障害者生活支援センターみさとコスモス

☎048-954-7925

【指定特定相談支援事業所】

#### ・ 障がい福祉相談支援センターパティオ

☎048-949-2210

#### ・ 障がい福祉相談支援センターみさと中央

☎048-934-5922

#### ・ 障害者生活支援センターみさとコスモス

☎048-954-7925

#### ・ サポートセンター みどりの風

☎048-959-9492

#### ・ さとっこ相談室

☎048-954-8508

#### ・ ぐっどはーと

☎048-969-4972

#### ・ 輪・和・笑（地域で共に生きるナノ）

☎048-951-1817

#### ・ 障がい者相談支援センター そよかぜ

☎048-954-9463



### 相談支援事業所 はどんなことをし ているの？

障がいのある子ども  
の治療へ訓練、  
教育を目的とした  
社会資源の利用  
について相談が  
出来ます。

また、利用できる  
福祉サービス

（居宅介護や行  
動援護、移動支  
援、ショートステ  
イなど）の紹介を  
受けることが出来  
ます。

障がいを抱えた子  
どもを育てていく上  
での悩みや不安  
などについて相談  
してみましょう。

▶ 巻末の資料ページ  
にも一覧を掲載して  
います

子育て支援部会のほかに、障がい者地域生活支援協議会には5つの専門部会があります。それぞれの部会の活動を簡単に紹介します。

### <専門部会紹介①> 相談支援部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A.部会の中で困難事例検討会をしたり、地域資源の見学や研修をしています。

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A.左のページの事業所から代表者1名が集まっています。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A.いろいろな相談場所があります。子育てに関してひとりで悩まず相談してみてください。

### 相談支援事業所 Q&A

Q.相談支援事業所を利用するには？

A.左のページの三郷市で指定されている相談支援事業所へご連絡ください。空きがある場合はご利用できます。

Q.どんなことをしてくれますか？

A.サービスを利用するにあたってのサービス計画書を作成したり、探しているサービスの情報提供をしたりしています。

Q.困ったことがあったら何でも相談できますか？

A.相談内容については、お答えできることとできないことがあります。

Q.費用はかかりますか？

A.費用は基本的にかかりません。それぞれの事業所にお問合せください。

## <専門部会紹介②> 日中活動部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A. 各施設の現状・課題・情報の共有。地域の現状把握のためのアンケート調査、事例検討会や研修などを行っています。

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A. 日中活動をしている障がい者支援施設の職員です。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A. 学校を卒業した方々が日中過ごす通所サービスの種類は、生活介護、就労継続支援(A型・B型)、就労移行支援、自立訓練、地域活動支援センターがあります。

各事業所によって特色がありますので、将来に備えていろいろな場所をぜひ見学してみてください。

## <専門部会紹介③> 権利擁護部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A.毎回の会議前半にミニ学習会 ②虐待防止のティッシュ制作やリーフレット配布 ③講演会の実施などです。

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A.当事者、家族、障がいサービスの相談員や職員、高齢者相談の職員などです。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A.今、子育てを抱え込みやすい仕組みになってしまっています。情報が溢れてどこがゴールなのか分かりにくいと思います。整理や見通しができると目的地への移動方法も選択肢が出てきます。権利擁護部会ではミニ学習会や講演会を企画しています。一緒に学んでいきませんか？ぜひよろしくをお願いします！

## <専門部会紹介④> 精神障害部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A.精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について検討しています。

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A.病院のケースワーカー、市役所職員、居宅介護、訪問看護、相談員などです。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A.お子さんを包む環境を第一に考え、保護者・学校・デイ事業所・医療機関・相談員と力を合わせて支援していきましょう。

## <専門部会紹介⑤> コミュニケーション推進部会

Q.おもにどんな活動をしていますか？

A.ろう者が抱える「ことばの壁」「目に見えない障がい」等により、2次・3次障がいによる生きづらさについて事例検討を通して課題を共有し、理解者を広げていくための活動をしています。

Q.参加されているのはどんな方達ですか？

A.当事者（ろう者）を中心に、手話サークル、就労、相談、地域包括等の支援者、手話通訳者などです。

Q.子育て中の保護者に伝えたいことがありましたらお願いします

A. 電車や街中で、手話で話していると子どもの視線を感じる事があります。「見てはだめ」と子どもの視線を制しますか？そんな時は、「手話で話している」事をお子さんに教えてください。手話は、身振りではなく、文法を持つ、日本語や外国語と同じように「ことば（言語）」です。一人でも多くの方が正しい知識を持つことを願います。

## 経験談 成長に合わせたサービスの使いかた

今の生活に欠かせないと思っている福祉サービスでも年齢によって変化するかもしれません。ここでは実際に色々なサービスを使って来たお子さんたちのケースをご紹介します。

※放課後等デイサービス

- \* 小学校低学年の頃は、一時介護助成制度などを利用して短い外出を試みました。
- \* 低学年の頃は喜んで通っていたデイサービス※も、高学年になると休むことも増えてやめてしまいました。放課後はお友達と遊びに行ったり、休日に家で好きなことをしたりと自由時間を楽しんでいます。
- \* うちでは高学年の時、移動支援を利用して定期的に週1回程度の外出をしていました。楽しみにして出かけていましたが、思春期に近づくにつれ嫌がるようになったので利用をやめました。
- \* 居宅介護で自宅に来てもらい、親が外出しているときに昼食やおやつ作りをヘルパーさんと一緒に行いました。
- \* サービスを使うようになって生活の質が充実してきました。
- \* 学校の仲間たちと誘い合って、移動支援で月1回のお出かけを楽しんでいます。
- \* 息子は成人していますが、事業所が休みの日にヘルパーさんと大好きなカラオケに行っています。歌うことが大好きなので月2回のカラオケは楽しみにしています。
- \* 小さいうちは遊び中心のデイサービスに通っていましたが、中学校になり、卒業後の作業のようなことをしてくれるデイサービスに変えました。たくさん見学をしておいてよかったと思います。
- \* 中学生になった時点で、毎日通っていたデイサービスを週2日程度に減らしました。デイに行かない日は、自宅でゆっくり過ごしたり、散歩や買い物、外食等、本人の好きなことをして過ごす時間を作りました。卒業して本人が混乱することなく生活できているのは、デイサービス以外に好きなことを見つけられたからだと思っています。

## 第3章

# 親と子のくらしを支える

## <ライフステージにともなう 変化への心がまえ>

障がいに関連した医療機関や福祉サービスの利用に関する相談の場などをご紹介します。

同じような仲間との出会いや子どもが参加できるサークルなども知っておくと便利！



## 先輩に聴きました 大きくなるまでに大切だと思うこと

障がいのある子どもだって心も体も成長していきます。思春期も反抗期もあるでしょう。大きくなるまでに大切だと思うことを先輩のお母さんに聞きました。

小さい頃はスキーやキャンプなど楽しい経験をたくさんしました。そのためにお金も使いましたね。「卒業したら自分のお金で行ってください」と小さな頃から伝え、今は自分で働いたお金でスキーやキャンプに出かけています。

たくさんの経験をして人との感情のやり取りや場面に応じたふるまいを学んでほしいと思います。その積み重ねは大人になってからの安定や幸せな生活に繋がっている気がします。

「学校を卒業したらお金を稼ぐ」これがなかなかイメージできませんでした。おこづかいやお手伝いの報酬などを渡すことを続け、必要な物は本人の財布から出すということが定着すると、不思議と他のことでのトラブルも減ってきたように思います。

どのような生き方をしてほしいのか、どんな人になってほしいのかをイメージして、いろいろなケースを想像し目標となるモデルを見つけてください。相談できなければ先輩の話聴いてみてください。小さなお子さんでも3年度5年度を考えて向き合うのが大事だと思います。

大切なこと…母子分離です。小さな頃から良かれと思って先回りしたり、本人に確認する前に母が答えたり、先生にお願いしたりを繰り返して、思春期には嫌がられ荒れました。今はつかず離れずを心がけています。

今のようにデイサービスがなかったのも、幼稚園や小学生時代、放課後をどう過ごすかは課題でした。運動や芸術系の習いごとに通ったり、仲間同士で料理教室を開いたり、色々チャレンジしました。おかげで好きなことが増え、思春期になっても余暇に時間を使い充実した生活を送っているようにみえます。

# 1.医療機関

診断を受ける時だけでなく、その後も医療機関とのつながりは大切です。  
ここでは専門的な医療機関の一部をご紹介します。

## ● 埼玉県立小児医療センター

〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区大字馬込

2100 番地

☎048-758-1811(代表) fax:048-758-1818

## ● 中川の郷療育センター

〒343-0116 埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩

222 番地

☎048-992-2701(代表)

おもに肢体不自由のお子さん

## ● 東京都立北療育医療センター城北分園

〒121-0062 東京都足立区南花畑 5-10-1

☎03-3883-5131 fax:03-3885-9675

## ● 心身障害児総合医療療育センター

〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-10

☎03-3974-2146 fax : 03-3554-6176

発達検査の結果や障がいの有無についての診断などはお母さんひとりで受け止めるのは辛いことかもしれません。可能でしたらご家族と一緒に行動されることをお勧めします。

## \*サポート手帳

生育歴・相談歴・医療受診記録・これまで受けてきた配慮などをまとめる手帳です。乳幼児期から成人まで記入することが出来ます。ぜひ活用してください。



## 受診のコツ

初診では必ず生育歴を聞かれます。産まれてから現在までのお子さんの様子や、病歴・通院歴などに加え、気になる行動などもまとめておくといいですよ。



## 2.相談

順調な時もあれば、困ったことが続いて起こることもある毎日の生活。ひとりで抱えきれないと思ったら、相談してみましょう。

### どこに相談に行けばいいの？

相談したい内容にもよりますが、身近な相談機関は次のようなところがあります。

#### 三郷市内の相談

##### ● 発達ふれあい相談

お子さんの発育、運動発達、言葉の発達、人とのかかわり方などの心配について、小児科医師、心理士、作業療法士、保健師、栄養士といった専門職による個別相談を行います。

【窓口】健康推進課 地域保健係 ☎048-930-7772

##### ● 子ども発達支援センター

発達について遅れや偏りなどの心配があるお子さんについて、専門スタッフによる個別指導や相談等を行っています。指導や相談は予約制です。

【窓口】子ども支援課 子ども発達支援センター

☎048-930-7794

<三郷市健康のしおりより一部転載>



### 相談のコツ

緊張し話そうと思ったことを忘れてしまうこともあります。箇条書きでよいので、気になることは書き出して行くといいですよ。また、日常の様子を記録したものや、園や学校での様子が分かるものも持参しましょう。

サポート手帳に書いてあれば、1冊持って行けばOK。



## \* 草加児童相談所

子どもの福祉に関するさまざまな相談に応じ、それぞれの問題解決に必要な援助を提供するところです。

相談の内容によっては、関連する地域のいろいろな機関と連携を取り合います。

相談には専門の職員があたります。

### □ 相談方法

電話による相談は随時お受けします。

面談による相談を希望する場合は、事前に電話などでお申し込みください。

### □ 相談時間

月曜日～金曜日（土・日、祝日、年末年始は除く）午前 8 時 30 分～午後 6 時 15 分

草加児童相談所 ☎048-920-4152

<埼玉県ホームページより一部抜粋>

## \* 埼玉県発達障害総合支援センター

発達障害のある 18 歳までの子どもとご家族の方からの電話相談をお受けしています。

・ 毎週月曜日から金曜日（祝日、年末年始は除きます。）

・ 受付時間は午前 9 時～12 時、午後 1 時～4 時

☎048-601-5551



◎ 身近な相談の場所で相談したものの、やはり不安はぬぐえない、解決の糸口が見つからない、と感じたら…  
相談機関を替えることや、専門的な病院への受診や検査を検討してみたいかでしょうか？

※19 歳以上の方の相談支援は、埼玉県発達障害者支援センターまほろばが行います。  
049-239-3553

### 3.仲間に出会いたい

三郷市内の障がい福祉団体やサークルの紹介です。定期的な集まりや学習会、啓発活動、本人活動などを行っているところです。

#### スモールステップワークショップ

令和5年度は学期に1回

メール : [small\\_3310@yahoo.co.jp](mailto:small_3310@yahoo.co.jp)

対象 : ①幼児から小学生までの障がいのあるお子さんのご家族  
②中学生以上のお子さんをお持ちの方

2012年から、子育てのアイデアや取り組み方の紹介、ワークショップなどを定期的に行っています。1回ずつの参加で無料です。

進行は全日本手をつなぐ育成会家族支援ワークの研修を受けたファシリテーターが担当します。お子さんへの接し方で悩んでいる方もお気軽にご参加ください。同じ保護者なので相談にのることはできませんが、話しているうちにヒントが見つかることもありますよ。開催情報や報告はLINE公式アカウントやブログにてお知らせします。

ブログ : <http://3310smallstep.blog.fc2.com>



LINE 公式アカウント

<https://lin.ee/FnNC1V1>



#### 三郷市わらべ会

メール [misato\\_warabekai@yahoo.co.jp](mailto:misato_warabekai@yahoo.co.jp)

活動内容 : 障がいのある子がいる家族の会です。子どもの年齢は幼児から50代まで幅が広いのが特徴です。

親の勉強会、地域への講演会、市の他団体との連携、広報誌の発行、本人活動など幅広い活動をしています。発足して50年を超えました。

Facebook <https://www.facebook.com/misato.warabe>



**みさと福祉会** 連絡先：048-958-6674

活動内容：精神障害者の社会参加や地域生活の向上を目指して設立した団体です。活動内容：障がいを持つ方への支援や社会資源の紹介、啓発事業(DVD上映や講演会)を行っています。発足は平成7年です。

ホームページ（川の郷福祉会内）

<https://www.kawanosato.net>



**戸ヶ崎手をつなぐ親の会** 連絡先：048-958-6674

活動内容：1973年に戸ヶ崎小学校を中心に発足した障がいのある子どもがいる家族会です。埼玉県手をつなぐ育成会に所属しています。研修会、本人活動などを行っています。

**スマイルコレクション** 障がい児親子団体

活動内容：月1回メルマガを配信。三郷市の情報をお伝えします。また茶話会や勉強会、子どもと一緒に遊ぶ会などの楽しい活動もしています。活動は自由参加ですので、お気軽にご連絡下さい！発足は2013年です。

メール：[smilecollection@outlook.com](mailto:smilecollection@outlook.com)

フェイスブック <https://www.facebook.com/smilecollection.misato>



## 4.子どもが参加できるサークルなど

子どもにいろいろな経験をさせてあげたい。みんなはどんなところに行っているの？

### 三郷フレンズ HAND in HAND

障がいのある人もない人も一緒にスポーツを通して、社会体験を増やし楽しい生活を支援する団体です。

【活動内容】バドミントン 毎週火曜 午後 7 時 30 分～午後 9 時 瑞穂中学校体育館など フライングディスク 毎週土曜 午前 県立三郷特別支援学校など 【入会について】月会費 1000 円 ☎090-1761-3521(鈴木)

### スペシャルオリンピックス日本・埼玉

三郷ブロックでは、毎月 1 回、水泳（越谷市民プール）・陸上（みさと公園）・テニス（三郷市内）を行っています。

【入会について】知的障がいのある 6 歳以上の方であればどなたでも参加できます。年会費とスポーツ安全保険の加入が必要。

ホームページ：<http://www.son-saitama.org>

☎048-262-6488 FAX：048-886-8532 Mail:info@son-saitama.org

### 公益財団法人 日本 YMCA

発達障がいや同様の課題を持つ子ども、または不登校や引きこもりの子どもを対象に学習・社会性支援クラスやグループ活動を行っています。

### NPO 法人 朝日キャンプ

知的障がい児者対象のキャンプ。対象は小学校 4 年生以上の危険防止の注意が理解できる障がい児者。日帰りキャンプもあります。

地域のスイミングスクールやスポーツ団体、英語・書道・音楽教室などに通っているお子さんも多いと思います。その際は、得意なことや苦手なことを簡潔に伝えると良いかもしれませんね。余暇活動は友達が出来たり、長く楽しめる趣味に繋がったりする大事な機会でもあります。勇気をもってお子さんと一緒に足を踏み出してはいかがでしょうか？



## 第4章

# 子ども達との暮らしの話

### <保護者アンケート>

---

生活の中で思うようにいかないこと、困っていること  
あってありませんか？

「うちだけなのかな？」…そんなことはないかもしれ  
ませんよ。

みなさんが何に困り、どんな工夫をしてきたのか、  
子育て支援部会の集まりやスモールステップワーク  
ショップの協力で、たくさんの方のご意見をまとめ  
ました。（ほぼ原文のままです。）

---

## 外出先や病院での困りごと

### 【外出で】

- ・多動でどこに行くにも先に行ってしまう、いつも追いかけたり探したりしている。
- ・電車やバスの中で目立つので、迷惑そうな視線を感じる。
- ・ひとり言や動作が大きく、周りの人に迷惑をかけてしまう。
- ・初めての場所は入れない。予想以上に混雑していると落ち着かない。
- ・テンションが上がりすぎて大きな声を出し、走り出してしまう。
- ・パニックを起こしたとき、本人も大変だと思うが親も恥ずかしい。
- ・どこでも順番が待てない。親のしつけが悪いと思われている。
- ・障がいのある子に合わせる外出は、きょうだいに我慢をさせてしまっている。
- ・知らない人に「うるさい」と怒鳴られていたたまれなくなった。
- ・外出は小さい頃のほうが大変だと思っていたが、大きくなると何もしていなくても立ち居振る舞いだけで目立つのか、じろじろ見られる。
- ・希望の駐車場の階に停められないとパニックです。

### 【病院受診で】

- ・暴れるのを前提で押さえつけようとしてしまった。
- ・羽交い絞めで受診させている。
- ・小さい頃はわからずについてきたが、だんだんと病院を嫌がるようになり、病院でもたくさん注意されてしまった。
- ・「出来たら好きな物を買ってあげる」と言ってついてきたが、それをやめたら断固拒否されて治療が出来なかった。
- ・長時間待つことができないので、病院を探している。
- ・頭が痛い、お腹が痛いとは言うけれど、どの程度痛いのか度合いがわからない
- ・診察や会計・薬、とにかく待つことが出来ない。母親ひとりで病院に連れて行くのは大変。
- ・待合室で静かに座ってられず、(ウロウロ歩き回る・大きな声を出す) 受付の人や看護師さんに注意された。周りの白い目もツライ。
- ・診察時大泣きで抵抗したため医師から暴言を吐かれた。
- ・「きちんとさせて」と怒られた。

## 外出先や病院でうまくいった工夫

### 【外出で】

- ・子どもの行動パターンや好きなことを考えて、好きな物があるところや自由に動くことができる場所を選ぶ。
- ・出かける前に、スケジュールや絵カードなどの視覚支援を作り本人に伝える。
- ・「×」してはいけないことを注意するのではなく、「○」取るべき行動を提示する。その場ではなく事前に本人と約束する。
- ・旅行であれば宿泊先にハンディのある子と一緒に宿泊すると伝える。部屋食や貸し切り風呂などの施設がある所やコテージなどを使う。
- ・大切な会食のときは個室を取る。
- ・早く行く、終わり間際に行くなど時間を調整する。
- ・混むかもしれない場所や並ぶ場合は事前に本人と話し合いをしておく。
- ・今は無理だと思ったら「今回はやめよう」と避けるのもアリ。
- ・我慢させているきょうだいには、本人がいない時に特別な時間を作る。
- ・ここぞというときのために用意したおもちゃ・本・ゲームなどを渡す。

### 【病院受診で】

- ・視覚支援を使って受診の流れを伝えたら、本人が頑張って泣かずに受診が出来た。うれしかった。
- ・時間をかけて薬を飲ませる工夫をした結果、飲めるようになった。
- ・服薬は説明書を見せて何の薬かを読んでもらう。精神の薬は特に納得しないと飲んでもらえないし、黙って飲ませることは私には出来ない。
- ・小さい頃からの積み重ねはやはり大切です。
- ・受診の際暴れて嫌な思いをした。次のとき父親について来てもらったら、病院の態度が全く違った
- ・母親ひとりで連れて行くのは大変なので、在宅一時介護助成制度などで付き添いを頼んだ。
- ・受診前に障がいがあるけれど診てもらえるか、何時ごろ行ったらよいかなどを電話で聞いている。
- ・周りの人にも「お騒がせしてすみません」など声を掛ける。言いくければ帰るときにでも。

## 学校生活や学習面での心配や困りごと

### 【学校生活】

- ・登校時間など、きょうだい児との生活リズムが違うので少し大変。
- ・本人が「学校に行きたくない」と言い出したらどのようにしたらよいかわからない。
- ・週5でデイの枠が埋まってホッとしたが子どもが嫌がり減ってしまった。
- ・想像していた以上に大変だったのが登校班や下校班での同級生との関係。
- ・幼稚園で出来ていると思っていた荷物の出し入れや着替えなどが出来なくなってしまう。お手本になる子がいないから？
- ・学年が低いうちは頻繁に交流学級に行っていたが、だんだん減ってきている。
- ・通常学級だと苦手なことや配慮してほしいことを伝えてもなかなかやってもらえない。
- ・『学校は休んだらいけない』と強く思っている。学校で言われたことや一般的な常識などは絶対だと思い込んでいる節がある。親が言葉を掛けても納得できない。

### 【学習面】

- ・文字や数字がなかなか理解できない。
- ・漢字が書けない。書き順が覚えられない。
- ・ゲームやYouTubeが見たくて宿題をする前にゲームをやってしまう。遊びに行ってしまう。
- ・帰宅しても宿題に取り組めず、何度言ってもやらない。最後には大きな声で怒ってしまう。
- ・わからないと急に大泣きして手が付けられない。
- ・漢字を書くとき止めやはねまできちんと書こうとするのでとても時間がかかる。
- ・親がついていないと全然出来ない。本当に今日習ったことの宿題なの？
- ・学校で何を勉強しているのかがわかりにくい。
- ・デイで宿題をやってこない。デイって宿題を見てくれるところですよ？
- ・そもそも障がいのある子の学習って何だろう…
- ・大人になるまでにどんな力をつけさせればいいのか？

## 学校生活や学習面でうまくいったこと

### 【学校生活】

- ・無理矢理行かせようとして親子の信頼関係が崩れかけたことがあった。関係を修復するまでにとても時間がかかってしまった。親子の信頼関係を崩してまで行かせようとしなくて良かったかなと今は思う。(今は登校しています)
- ・通常学級で不登校になりかけたが、早めに支援学級への転学を決めた。本人が希望しての転学だったのでそれからは学校生活全般がとても上手くいっている
- ・デイ利用はどんな目的で何を期待していくのかを考えた。子どもの体力のことも考え、無理のない日数に変更した。
- ・自分で「行く・行かない」「やる・やらない」が言えることは素晴らしいことだと思う。年齢に応じて自分で決めたり、親や先生と交渉したりしながら社会性が上がる。いつまでも親の思い通りになんてならない。
- ・スケジュールや家ですることがあれば長期休みもそれなりに過ごすことが出来る。そもそも長期休みに毎日デイは入らないのでは？
- ・登校班、下校班は時々顔を出して様子を見るように心がけた。

### 【学習面】

- ・書き順や文字・算数アプリなど、わかりやすく興味のある方法を使う。
- ・×「宿題終わらないとゲームさせないよ」ではなくて、○「宿題が終わったらゲームができるね」と肯定的な伝え方を心がける。親の修行かも。
- ・タブレット学習を取り入れる。書字困難の子の場合特に有効かもしれない。
- ・授業の理解度をよく見極め、宿題の量や中身について先生に相談してみる。デイで宿題をやってくれることもあるが、やはり学習は家でも見たほうが良いと思う。
- ・みんなと同じじゃなくてもいい、と本人が納得するのも大切。学校のことは先生から話してもらったほうが良い。親が言っても納得できない。
- ・普段からスケジュールやカレンダーを使っていると、家に帰ってから寝るまでの間もスケジュールを確認しながら進められる。何度言ってもやらなかったことも自分で立てたスケジュールなら取り組める。
- ・年齢が上がるにつれて親が言うことには反発が強くなるので、それまでに自主的に動けるように環境や視覚的な取り組みで整えていくようにした。

## 先生とのやりとりで困ったことなど

### 【学校や先生とのやりとり】

- ・ 支援学校、先生は多く手厚い環境だと思うが、逆に大人が手を出しすぎているような気もする。子どもが主体的に活動してほしいけれど伝えるのが難しい。
- ・ 障がい特性をよくご存じないのか私の伝え方が悪いのか、子どもの困っていることや先生に対しての思いを伝えても上手く伝わらない。
- ・ 先生に親の考えている将来こうなってほしいなどの見通しを話すのが難しい。先生は今の話をする。
- ・ 登校や給食など先生は熱心に対応してくれたのだが、本人には負担となることが多くあった。
- ・ 社会に出てから困るから視覚支援はしない、と言われた。
- ・ 支援学級は8名まで先生がひとり。国の規定とはわかっているけれど、やはり手が足りていません。先生も大変そう。
- ・ 支援学級と交流学級との先生同士の連絡が出来ておらず、急な変更などが伝わってこないことがある。
- ・ 交流学級の先生と子どもの相性が悪かった。
- ・ 通常学級なので、学校や先生にどこまでお願いしていいのかわからない。
- ・ 偏食指導を一生懸命やってくれて好き嫌いは少なくなった。でも、残すことや減らすことがなかなかできず、思春期に入り太ってきてしまった。今思うと、学校と家庭で協力して、残すこと・食べ過ぎないことも取り組んだらよかったと思う。



## 先生とのやりとりでうまくいったこと

### 【学校や先生とのやりとり】

- ・上手にコミュニケーションを取る。正直これに尽きるかも。
- ・お世話になっている、いつもありがとうございます、という姿勢は常に見せる。先生とやり合っているいいことはないです。
- ・先生にもどんなクラスにしたいのか、子どもにどう育ててほしいのかのビジョンがあると思う。新学期にその辺の話をお伺いするようにしている。
- ・異動もあるし、正直 12 年間全部がいい先生だったとは言えないかもしれないが、担任以外でも相談やフォローをお願いできる先生はいる。
- ・嫌われてもいい、という気持ちでお願いすることもある。
- ・「療育先の先生が…」 「担当のドクターが…」 と保護者個人の意見ではないことをお伝える。
- ・学校と話をする必要のある時は時間を取ってもらう。事前に用件を伝え、回答はその場で求めず、期限を決めて改めて聞きに行く。感情的に話すのは良い結果を生まない。
- ・家庭での様子、長期休みの様子、病院や療育先での話などの情報を提供している。
- ・受け持っているのはうちの子だけでもないし、配慮が必要なもうちの子だけではない。それを忘れないようにしながら交渉するのは大変だけど、すり合わせは大切。
- ・（社会に出てから困るから視覚支援はしないとされた話）ご意見としては聞くけれど、社会に出てからのことはその時考えればよいと思った。視覚支援は今必要なことなので、先生がやってくれなくても子どもが主体的に使えるように、せっせと視覚支援や文字でのやり取りはやめなかった。結局先生も、子どもが見たり書いたりしてコミュニケーションが取れるようになると使ってくれる。やらないとそれまでです。

## お子さんとの生活で嬉しかったこと

- ・アンパンマンの顔の中に目を描き、それを嬉しそうに見せてくれた時。
- ・文字でやり取りができるようになった。
- ・子ども3人を公園に連れて行った夫に「毎日よくやっているな。すごい。」と褒められた。
- ・こだわりやマイルールなどいろいろあるけれど、それも含めて“面白いな～”と思えるようになってきた。
- ・(言葉を使わないので)文字でやり取りができるようになったことが嬉しかった
- ・大切なものは何?と聞かれたときに「家族」と答えたことを知り、嬉しかった
- ・「具合が悪いなー」と言うとき「肩もんであげようか」と言ったりする。
- ・行かれなかったところに行かれるようになった。
- ・小学校の登下校は送迎をして徒歩で通ったが、子どもに声を掛けてくれる人が増えた。優しい言葉掛けもあって6年間頑張ることが出来た。
- ・ずっと送り迎えだったが、時間をかけて練習し、ひとりで下校してきたときは凄く嬉しかった。
- ・スーパーで小さい子が落とした物を拾って渡してあげて、その子のお母さんに息子が「ありがとう」と言われた。いつも『すみません。ありがとうございます。』と言ってばかりの頃だったので嬉しかった。



## 配慮が嬉しいと感じたこと

- ・毎年クラス替えを始業式で知らされるので慣れるまで落ち着かなくて大変だったが、先生と話し合いを設け、今はクラスの子みんなが3学期の終わりに新年度の情報をもらえている。おかげで子ども達が落ち着いて新学期を迎えている
- ・時間割だけではどんな活動をするのか全く分からなかったが、週案をもらえるようになって本人が見通しを持って学校生活を送れるようになった。担任の先生は他の学年も同じ取り組みが出来るように働きかけてくれて、今では学部全体で配布されている。
- ・週案の続き・高等部では全員に配布する予定はないと言われたが、合理的配慮で本人にとって必要なものをお願いして3年間欠かすことなく渡してもらった。それを見て本人が先生と交渉していた。とても感謝している。
- ・スーパーで動き回る息子を抑えながら買った品物を袋詰めしていたとき、レジの人が飛んできてくれて「すぐに来られなくてごめんなさい」と言って手伝ってくれた。
- ・電車内で子どもがパニックになり、途中駅で飛び出そうとして危なかったところを数名の乗客が自然に手を貸してくれた。
- ・告知して通常学級に在籍している。担任からよく連絡がもらえる。
- ・病院受診の際、障がいがあることを伝えても断られず、嫌な対応をされなくなったと思う。
- ・入学式・運動会・文化祭・卒業式など、どうすれば本人に無理のないような参加が出来るのか、先生方が話し合って体制を整えてくれた。本人も出来たことに誇りをもっているようにみえた。
- ・支援学級在籍だったので役員や旗振りが免除された。小さい頃は留守番も出来なかったし助かったが、落ち着いて来た頃は自ら引き受けた。他のお母さんと知り合えたし通常学級の様子もわかって、今いる環境がいかにもありがたいのかを実感した。
- ・多動でじっとしていなかった頃、子ども・私の順番で診察した。私の番で子どもがふらっと診察室を出てしまったのだが、先生が受付の人に「外に行かないように見ていてあげて」と言ってくれた。

# 資料ページ

相談支援事業所一覧	69
児童発達支援センター 児童発達支援事業所一覧	70
児童発達支援・放課後等デイサービス事業所一覧	70
放課後等デイサービス 事業所一覧	71
成人障がい者施設一覧	72
特別支援学級 設置校	74
埼玉県内のおもな特別支援学校	75
県やそのほかの相談	76
埼玉県内や全国の親の会や自助団体	77
Special Thanks	78

市内の障がい児(者)のための事業所・施設等一覧

※令和5年10月現在

**委託相談（障害者相談支援事業）**

施設名	電話番号	備考
<a href="#">三郷市障がい福祉相談支援センター パティオ</a>	048-949-2210	
<a href="#">三郷市障がい福祉相談支援センター みさと中央</a>	048-934-5992	

**指定一般相談支援事業所（地域移行支援・地域定着支援）**

施設名	電話番号	備考
<a href="#">三郷市障がい福祉相談支援センター パティオ</a>	048-949-2210	
<a href="#">障害者生活支援センター みさとコスモス</a>	048-954-7925	

**指定特定・指定障害児相談支援事業所（計画相談支援）**

施設名	電話番号	備考
相談支援事業所 ぐっどはーと（児童のみ）	048-969-4972	
さとこ相談室（児童のみ）	048-954-8508	
<a href="#">三郷市障がい福祉相談支援センター パティオ</a>	048-949-2210	
<a href="#">障害者生活支援センター みさとコスモス</a>	048-954-7925	
<a href="#">三郷市障がい福祉相談支援センター みさと中央</a>	048-934-5992	
サポートセンター みどりの風	048-959-9492	
相談支援センター 輪・和・笑	048-951-1817	
障がい者相談支援センター そよかぜ	048-954-9463	

## 児童発達支援センター

施設名	所在地	電話番号	備考
<a href="#">三郷市子ども発達支援センター</a>	健康福祉会館	048-930-7794	
<a href="#">しいのみ学園</a>	新和	048-952-0066	

## 児童発達支援 放課後等デイサービス 一覧 ※令和5年10月現在

事業所名	所在地	電話番号	児発	放デイ
<a href="#">縁むすび虹</a>	高州	048-951-7241	○	
<a href="#">ぐっどはーと三郷</a>	高州	048-969-4972	○	
<a href="#">コベルプラス 三郷中央教室</a>	中央	048-954-5482	○	
<a href="#">てらびあぼけっと 三郷駅前教室</a>	早稲田	048-948-8309	○	
<a href="#">アクアキッズみさと団地教室</a>	彦成	050-3695-5718	○	
<a href="#">サザンカ</a> *重症心身障害児・医療ケア児	谷口	048-948-8628	○	
<a href="#">アルクキッズ</a>	新和	048-949-7526	○	○
<a href="#">アルクケア</a> *重症心身障害児	早稲田	048-951-5088	○	○
<a href="#">アルク純誠会みさと</a>	早稲田	048-950-2772	○	○
<a href="#">こどもプラス三郷中央教室</a>	中央	048-954-6026	○	○
<a href="#">こどもプラス三郷第二教室</a>	早稲田	048-948-6167	○	○
<a href="#">NPO 法人ほっと Time</a>	三郷	048-951-3424	○	○
<a href="#">からふるリーフみさと</a>	戸ヶ崎	048-951-3295	○	○
<a href="#">通所支援ベルテール三郷戸ヶ崎園</a>	戸ヶ崎	048-956-5977	○	○
<a href="#">通所支援ベルテール 新三郷園</a>	上彦名	048-915-1900	○	○

事業所名	所在地	電話番号	児 発	放 デイ
<a href="#">はるちゃんの家</a>	彦成	048-969-4283	○	○
なっちゃんの家	彦成	048-954-1431	○	○
<a href="#">ブロッサムジュニア 三郷教室</a>	早稲田	048-948-8326	○	○
<a href="#">るーと</a> *重症心身障害児	戸ヶ崎	048-969-4493	○	○
<a href="#">スタートライン三郷</a>	戸ヶ崎	048-956-0590	○	○
<a href="#">重症心身障がい児デイサービス サザンカ</a>	谷口	048-948-8628	○	○
<a href="#">アイビー三郷</a>	鷹野	048-951-3152	○	○
<a href="#">あさがお</a>	早稲田	048-969-4482		○
<a href="#">さとっこ</a>	幸房	048-954-8508		○
<a href="#">縁むすび</a>	高州	048-950-8633		○
縁むすび空	高州	048-951-0750		○
<a href="#">スマートキッズプラス三郷</a>	戸ヶ崎	048-969-4391		○
<a href="#">スマートキッズプラス三郷第二</a>	鷹野	048-950-8401		○
<a href="#">スマートキッズジュニア三郷</a>	中央	048-950-8791		○
<a href="#">パレット</a>	後谷	048-945-0771		○
<a href="#">放課後等デイサービス ふおーきっず</a>	谷口	048-934-5952		○
<a href="#">レイア</a>	早稲田	048-934-5651		○
<a href="#">通所支援ヘルテール みさと団地園</a>	彦成	048-916-3021		○
<a href="#">ばすてる</a>	茂田井	048-969-4482		○

※曜日や営業時間、送迎地域、活動内容等については、各事業所へお問合せください。

また、お電話でのお問い合わせに関しては、ホームページ等で対応できる時間帯を確認していただくとうまいか  
と思います。[事業所名](#) をクリックしていただくと各ホームページ等へリンクします。(確認できたもののみ)

## 就労支援施設等事業所一覧

※令和 5 年 10 月現在

施設名	所在地	電話番号	備考
<就労相談>			
<a href="#">三郷市障がい者就労支援センター</a>	幸房	048-953-1521	
<就労移行支援>			
<a href="#">カルディアみさと</a>	三郷	048-949-6605	
<a href="#">ラ・ポルタ</a>	早稲田	048-950-7315	
<a href="#">ラ・ポルタ みさと中央</a>	中央	048-960-0808	
<就労継続支援 A 型>			
インスピット	早稲田	048-959-9697	
<a href="#">ブルースカイ三郷</a>	早稲田	048-934-5407	
<a href="#">こころ</a>	戸ヶ崎	048-951-1090	
<就労継続支援 B 型>			
<a href="#">ウーリー三郷</a>	三郷	048-916-9954	
<a href="#">コンパス</a>	駒形	048-958-2555	
<a href="#">そよかぜ</a>	早稲田	048-954-8463	
<a href="#">みどりの風 (多機能)</a>	半田	048-959-1615	
<a href="#">レモンカンパニー (多機能)</a>	早稲田	048-940-1290	
<a href="#">ワークセンター-しいの木</a>	幸房	048-953-4789	
<a href="#">パティオ</a>	彦成	048-950-7311	
ハピネス	彦川戸	048-959-9697	

＜生活介護＞			
<a href="#">おれんじ（多機能）</a>	彦江	048-960-0019	
<a href="#">風のうた(みどりの風分室)</a>	新和	048-952-7086	
<a href="#">さつき学園</a>	幸房	048-953-3699	
<a href="#">しづき</a>	戸ヶ崎	048-956-1777	
<a href="#">光座</a>	早稲田	048-958-7047	
ひまわりの家	新和	048-952-7806	
<a href="#">みどりの風（多機能）</a>	半田	048-959-1615	
<a href="#">Lagom(ラゴム) みさと団地</a>	彦成	070-8717-7146	
＜地域活動支援センター II 型＞			
<a href="#">地域で共に生きるナノ</a>	戸ヶ崎	048-951-1817	
＜地域活動支援センター III 型＞			
<a href="#">憩いの場オアシス</a>	早稲田	048-958-6674	
<a href="#">スペース遊</a>	鷹野	048-945-0222	

	学校名	知的	情緒	通級	所在地	電話番号
小 学 校	早稲田	●	●		三郷3-2-1	048-952-4151
	八木郷		●		鷹野1-35-1	048-955-0912
	戸ヶ崎	●	●	こころ	戸ヶ崎3-76-1	048-955-0913
	彦成	●	●		彦倉1-133	048-952-1265
	高州	●	●		高州2-275	048-955-0097
	吹上		●		寄巻921-1	048-955-5964
	桜	●		ことば	彦成4-5-16	048-957-5033
	鷹野	●	●	ことば	鷹野3-211	048-955-1911
	新和	●	●		中央2-28-12	048-952-0121
	幸房	●	●		茂田井88	048-952-0211
	立花	●	●	こころ	彦成4-3-18	048-957-1266
	彦糸	●	●		彦成3-10-23	048-957-0201
	前谷	●	●	こころ	戸ヶ崎2-600	048-955-9331
	高州東	●	●		高州2-409	048-955-7711
	彦郷	●	●		彦成3-8-29	048-957-9911
	丹後	●	●		早稲田5-3	048-957-1217
	前間	●	●		前間197-1	048-958-1211
	瑞木	●	●	こころ	さつき平1-6-1	048-957-1310
後谷	●	●		後谷36-3	048-959-4500	
中 学 校	南	●	●		鷹野3-356	048-955-0550
	北	●	●		泉2-13-1	048-952-5281
	彦成	●	●		彦成4-1-19	048-957-1201
	彦糸	●	●		彦成3-14-4	048-957-1215
	前川	●	●		栄5-141	048-953-4401
	早稲田	●	●		彦成5-56	048-958-1231

※中学校の通級指導教室はありません

## 埼玉県立特別支援学校

※令和5年度

### 三郷市が通学地域となる特別支援学校

	学校名	所在地	電話番号
小 中 高	塙保己一学園(視覚)	川越市笠幡 85-1	049-231-2121
	大宮ろう学園(聴覚)	さいたま市北区植竹町 2-68	048-663-7525
	越谷特別支援学校(肢体)	越谷市大-字船渡字福島 500	048-975-2111
	三郷特別支援学校(知的)	三郷市駒形 56 番地	048-952-1205

※県内いずれの特別支援学校高等部では入学選考があります。ただし、下記の学校については、入学許可候補者とならなかった場合、学区の特別支援学校への願書提出ができます。

### 特別支援学校高等部職業学科

学校名	所在地	電話番号
さいたま桜高等学園 生産技術科、家政技術科 工業技術科、環境・サービス科	さいたま市桜区上大久保 519-7	048-858-8815
羽生ふじ高等学園 農業技術科、生活技術科	羽生市下羽生 320-1	048-560-2020

### 特別支援学校高等部分校 普通科

学校名	所在地	電話番号
草加かがやき特別支援学校 草加分校	草加市原町 2-7-1 (県立草加西高校内)	048-946-6607
越谷西特別支援学校 松伏分校	松伏町ゆめみ野東 2-7-1 (県立松伏高校内)	048-940-5763

## 県やそのほかの相談

- **地域療育センター** ※小3まで

発達障害の特性が気になる子供に作業療法士等の専門職が個別療育を提供。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、臨床発達心理士などの専門職が、アセスメントにより子供の特性を把握し、その子に合った個別療育を提供することによって子供の発達を促します。（専門職の配置はセンターによって異なります。）

- **\* 東部地域療育センター**

運営法人：特定非営利活動法人 合（あい）

住所：越谷市大里 729-1 電話：048-978-6449（代）法人事務所「合」内

- **埼玉県立総合教育センター** <ホームページより一部引用>

【いじめ、不登校、学校生活、性格等に関する相談】 毎日 24 時間受付

対象：小・中・高校生・青少年（原則として 18 歳まで）及びその保護者

※ Eメール相談、FAX 相談の返信は数日。お急ぎの場合や具体的な相談を希望する場合は電話相談を。他に予約制の面接相談あり。

（保護者用）☎048-556-0874（子供用）☎0120-86-3192

（Eメール相談）soudan@spec.ed.jp\_（FAX 相談）0120-81-3192

- **子どもスマイルネット** 総合相談（育児・いじめ・体罰など）

☎048-822-7007 毎日（祝日、年末年始を除く）、午前 10 時 30 分～午後 6 時

## 資料編

- **文教大学大学院人間科学研究科所属 臨床相談研究所** ※費用:3000 円～

☎048-974-4065 月～土曜日 9：30～17：00（日・祝・大学休業日を除く）

- **獨協大学 地域と子どもリーガルサービスセンター**

☎048-946-1771（月～金 9:00～17:00）

## 県内や全国の親の会や自助団体

---

団体名だけ掲載します。ご興味のあるところは検索してください。

- 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会（知的障害 親の会）
- 埼玉県自閉症協会（自閉症 家族と支援者の会）
- 埼玉親の会「麦」（LD・ADHD・アスペルガー等の子を持つ親の会）
- 埼玉県心臓病の子どもを守る会
- 全国重症心身障害児(者)を守る会
- 社団法人埼玉県聴覚障害者協会
- 特定非営利活動法人 全国 LD 親の会
- 公益財団法人 日本ダウン症協会
- 一般社団法人 全国肢体不自由児者
- 父母の会連合会認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク
- 全国きょうだいの会（全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会）
- かんもくネット
- NPO 法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク
- 子ども情報ステーション by ぷるすあるは（精神障がいやこころの不調、発達凸凹をかかえた親とその‘子ども’の情報&応援サイト）
- 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）
- みんなねっとサロン
- 精神疾患の親をもつこどもの会（こどもびあ）
- シブコト 障害者のきょうだいのためのサイト
- Yancle community（ヤンクルコミュニティ）
- ほっと一息タイム（一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会）

# Special Thanks

三郷市 障がい福祉課・障がい子育て関係機関の皆さま

スモールステップワークショップ、子育て支援部会の勉強会などにご出席いただいた皆さま、障がい児の保護者の皆さま

そのほか情報をお寄せくださった皆さま

イラストをお借りしました

イラストわんパグ <http://www.wanpug.com/>

いらすとや <http://www.irasutoya.com/>

参考文献

倉敷子育てハンドブック ひとりじゃないよ

所沢リソースブック 2013

三郷市障害福祉サービスガイドブック

三郷市障がい者就労支援施設等事業所ガイドブック

子育てハンドブック いっしょに歩こう～少し不安なあなたへ～

初版発行：平成 28 年 改訂版：令和 3 年 ダウンロード版：令和 5 年

発行元：三郷市障がい者地域生活支援協議会 子育て支援部会

ホームページ：misato-kosodate-bukai.jimdo.com



メールアドレス：kosodate\_3310@yahoo.co.jp